



[掲載資料]写真: 30620019423 横断歩道/砂辺(1975年)

1970年初頭から、交通量が急激に増加し、それに伴い全国で交通事故が急増し社会問題となっていました。この頃、北谷村砂辺区に住む小学生は、村内の小学校が遠いため、通学の便利さを考慮して嘉手納小学校へ通うことになっていました。また、中学生も距離のある北谷中学校に通っていました。そのため通学の際は、最も交通量の多い国道58号を横断しなければなりません(写真参照)。

こうした状況を受けて、北谷村は国に対して国道58号へ歩道橋の設置を求めています。その結果、1975年(昭和50年)6月から砂辺を皮切りに、謝苺入口や北前に歩道橋が架設されることとなりました。



写真を公文書館  
検索システムで見ると



公文書館  
ホームページ

お問い合わせ 公文書館 ☎982-7739

公文書館では北谷に関する資料を収集しています。資料の種類や新旧に関わらず、ご寄贈や情報提供などのご協力をお願いします。